

「保険業界向けカンファレンス2024」開催

Web3時代の顧客接点創出・CX向上

【株】シンテックは6月27日、東京都千代田区の本プレスセンタービルで「保険業界向けカンファレンス2024〜Web3時代の顧客接点創出・CX向上〜」を開催した。保険会社におけるデジタル技術を活用した顧客接点強化の取り組みを紹介するイベントで、第一部では森・濱田松本法律事務所のパートナー弁護士である増田雅史氏が「メタバースの法的論点」基礎と応用・生損保業界編」をテーマに、第二部ではポストン・コンサルティング・グループでマネージング・ディレクター&パートナーを務める大喜多雄志氏とプリンシパルの金子真文氏が「保険会社における顧客接点強化の方向性」先進事例に学ぶ成功の要諦」をテーマに講演した。最後のセッションでは、シンテックのサービスを活用した保険業界における顧客接点強化の事例が紹介された。当日は保険会社社員など数十人が参加し、関心の高さをうかがわれた。



保険会社社員が多数参加した

シンテック

カンファレンスの冒頭、シンテックの柳秀樹社長があいさつし、プログラム内容を紹介するとともに、「コロナ禍には保険業界の皆さま向けのカンファレンスを行うことができず、今回が久しぶりの開催になる。本日は二部構成になっており、保険業界の皆さまの関わりについて説明。お役に立つのではないかと考えており、また、終了後にはささやかながら懇親会もあるのでぜひ皆さまの意見交換にご活用いただければと思う」と述べた。

第一部では増田氏が、一般的に仮想の三次元空間を指し、近年、企業による取り組みが広がっている「メタバース」について講演した。前半は主に、メタバースや関連用語の定義、概念の拡がりなどについて紹介した後、保険業とメタバースの関わりについて説明。

「Web3・メタバースを利用した保険事業②メタバースの利用に関連した保険商品の開発③メタバース関連事業の保有・提携」に分けて、想定される主な取り組みと年じ

得る法的問題点について、後半は、メタバースに関する「サービスの重層構造化・取引パートナーの増加」「現実世界との同質性の高まり」「メタバース空間内での社会生活」「違法・不適切行為に対する警察・司法機能」「デファクト・スタンダード獲得競争」といった各論点について、現在起きている事象とそ

「サイバー空間が融合された新しい社会」とほぼ同じ概念だとした上で、「政府はSociety 5.0の実現のために、現在までは分野横断的な検討が十分になされていない」とは言いがたいAI、

保険会社の対応ポイント・先進事例を紹介

「Web3・メタバースを利用した保険事業②メタバースの利用に関連した保険商品の開発③メタバース関連事業の保有・提携」に分けて、想定される主な取り組みと年じ

「サイバー空間が融合された新しい社会」とほぼ同じ概念だとした上で、「政府はSociety 5.0の実現のために、現在までは分野横断的な検討が十分になされていない」とは言いがたいAI、

「サイバー空間が融合された新しい社会」とほぼ同じ概念だとした上で、「政府はSociety 5.0の実現のために、現在までは分野横断的な検討が十分になされていない」とは言いがたいAI、

「サイバー空間が融合された新しい社会」とほぼ同じ概念だとした上で、「政府はSociety 5.0の実現のために、現在までは分野横断的な検討が十分になされていない」とは言いがたいAI、



柳氏



増田氏



大喜多氏



金子氏



小林氏

「サイバー空間が融合された新しい社会」とほぼ同じ概念だとした上で、「政府はSociety 5.0の実現のために、現在までは分野横断的な検討が十分になされていない」とは言いがたいAI、

「サイバー空間が融合された新しい社会」とほぼ同じ概念だとした上で、「政府はSociety 5.0の実現のために、現在までは分野横断的な検討が十分になされていない」とは言いがたいAI、

「サイバー空間が融合された新しい社会」とほぼ同じ概念だとした上で、「政府はSociety 5.0の実現のために、現在までは分野横断的な検討が十分になされていない」とは言いがたいAI、